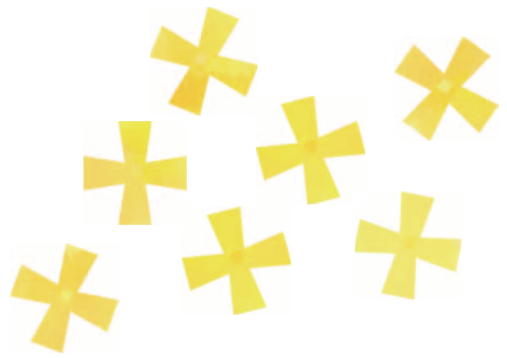


# 菜の花

NHO IBUSUKI MEDICAL CENTER



No. 51  
令和4年1月

龍宮神社



海から昇る日の出



開闢岳と池田湖



枚間神社の絵馬

当院のロゴマークは、指宿市が誇る「菜の花」をモチーフにしています。



たくさんの黄色い円は花の部分を表しており、菜の花は小さな花が集まって1つの花を形成しているというように、病院のスタッフ1人ひとりが集まって、病院という組織があるのだということを表現しています。

緑の弧は菜の花の葉と、病院（花の部分）には新しい風が常に舞い込み、また病院が地域に新しい風を送り出しているという「風」のイメージを示しています。

## contents

- P.2 新年を迎えて — 菜の花プロジェクト —
- P.3 ホームページのリニューアルをしました。
- P.4 第75回国立病院総合医学会がWEB開催されました
- P.6 菜の花プロジェクト
- P.7 指宿 菜の花通信
- P.8 外来診療担当医一覧

## 理念

患者さまにやさしく、  
地域に信頼される  
良質な医療の提供をめざします。

## 運営方針

- 1 がん診療の治療の向上をめざします。
- 2 成育医療の充実をめざします。
- 3 救急医療の充実をめざします。
- 4 地域医療機関との連携を図り、説明と同意に基づいた安全で質の高い医療をめざします。



# 新年を迎えて―菜の花プロジェクト―



院長  
鹿島 克郎

新年明けましておめでとうございます。

指宿医療センターが地域の中核病院としての役割を果たすべく今年も精進して参りますので、ご支援とご協力を引き続き宜しくお願い致します。

さて、新型コロナウイルス感染症発生から3年目の年明けです。

2019年、中国武漢に端を発したこの感染症は瞬く間に全世界に拡がり、COVID-19と命名され、この感染症により私たちの生活スタイルは一変し、私たち医療者も長きに渡る戦いを強いられることになりました。

人間は一人で生きてゆくことはできません。人との関わりの中で助けられ勇気付けられます。

しかし、この感染症によりマスクを着用し人との距離を保つことが必要になり、職場では、忘年会、新年会、歓送迎会などチームで集う機会がなくなり、人との関わりが希薄になりました。WEBでの会議は、長距離出張がなくなり便利になった一方で参加者との距離感が縮まらず、人間関係が疎になった感があります。

当院では2年連続で忘年会、宿泊研修、ビアガーデンでの救急隊との合同暑気払い、職員ボーリング大会、市民公開講座など定例行事が悉く中止になりました。

感染症リスクを抑えて全職員が参加できるイベントを何とか開催できないかと思案する中、11月、“菜の花プロジェクト”が立ち上がり、職員合同でヘリポート周囲に菜の花の種を植えました。忘年会の代わりとして参加賞やビンゴ景品も用意し、50数名の職員が参加、2時間程度で作業は無事終了しました。菜の花は当院のシンボルマークにもなっています。春先に黄色い花が一斉に咲き誇るのが楽しみです。そして夏にはひまわり、秋にはコスモスの花がヘリポート周辺を彩ってくれば、職員だけでなく患者さん達にも穏やかな入院生活を過ごせて頂けるのではないのでしょうか。

感染症パンデミックを経験し克服しつつある私達は、今後、感染症のみならず災害など非常時にも対応できる持続可能な医療体制を構築していく必要に迫られていると思います。





# ホームページのリニューアルをしました。

経営企画係長 大淵 真吾

この度、指宿医療センターのホームページにつきまして、大幅なリニューアルを実施しました。今回のリニューアルではデザインやページ構成を見直し、新コンテンツの追加も実施しました。

また、スマートフォンやタブレットでの表示も最適化し、各デバイスから閲覧しやすく改善しております。今後も皆様にご利用いただけるよう更なる改善を図り、有益な情報提供も行って参りますので、よろしくお願い申し上げます。

## 背景 ～リニューアルの「きっかけ」から公開まで～

今年の5月頃、「当院のホームページは情報が弱い」という言葉を受け、臨時のホームページ委員会を開催しました。まずはトップページの見直しと、写真の刷新などについて議論されました。

委員会を終えた後、完成予想図を作成し、業者選定を開始しましたが、これが大変な作業でした。どの業者へ連絡したら良いかも分からないため、鹿児島県内のいくつかの病院へ聞き込みをして業者を紹介していただき、4社まで候補を絞りました。

見積もりを依頼したところ金額では差がなかったため、内容で判断することになりましたが、初めてのホームページの作成で素人同然の私には、内容の違いが全く分かりませんでした。そこで4社から内容のプレゼンをしていただき、それぞれの評価をする事にしました。

各社のプレゼンを受け、評価表を作成し、3回目のホームページ委員会を経てようやく業者が選定されました。ここまでリニューアルをすると決まってから既に1ヶ月半が経っていました。スタートラインに立つだけでも難しいことの連続でした。

業者が決まってからもホームページ委員会の開催、各部署の写真撮影、修正箇所の取りまとめ、打ち合わせなどやることは多く、私自ら修正・更新することもしばしばありました。色々な困難はありましたが令和3年10月1日に公開することとなりました。

ホームページは完成することはなく、常にアップデートされていかなければなりません。これからも更新を続けてホームページをより良いものとする努力を続けていきます。



# 第75回国立病院総合医学会が WEB開催されました

庶務班長 田上 孝二

「社会の大転換期における国立医療（救う、支える、育む、拓く ～連帯と挑戦～）」をテーマとして、2021年10月23日（土）に第75回国立病院総合医学会が開催されました。

東北の仙台が主催地でしたので、実地開催であれば参加者の方々は名物の牛タン料理にお目にかかる所でしたが、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の収束の目途が立たないとの事で残念ながらWEB開催となりました。

これらの演題はスタッフが診療等の忙しい合間をぬって完成させたことだろうと、とても頭が下がる思いです。また、直接に演題作成に関わっていないスタッフによるサポートも欠かせなかったと思い、改めて感謝申し上げます。

セッション	発表形式	テーマ・発表者
リハビリテーション 理学療法士	□演	ABI 検査は正常域であったにも関わらず運動負荷により 片側下肢虚血を呈した急性大動脈解離の1例 リハビリテーション科 操 強志
リハビリテーション 言語療法士	□演	高齢者における嚥下時の喉頭位置変化の検討 リハビリテーション科 肥後 堯志
働き方改革	ポスター	入院時の情報収集にかかる時間短縮への取り組み ～情報収集シートの活用を通して～ 看護部 仁井田 康男
地域連携 地域包括ケア	ポスター	指宿医療センターにおける地域薬局との連携強化への取り組み ～連携充実加算取得に向けた体制構築～ 薬剤科 松島 静香
看護人材育成 認定・専門看護師	ポスター	チームリーダー育成における看護管理者が果たす役割行動への 支援 看護部 國生 道代
看護管理 看護業務 看護方式	ポスター	予期せぬ急変を予知するための取り組み ～早期警告スコア（NEWS：National Warning Score）導入に向けて～ 看護部 松元 恭子
放射線 画像診断	ポスター	心外膜脂肪の蓄積量による冠動脈への影響についての検討 放射線科 白木 利明

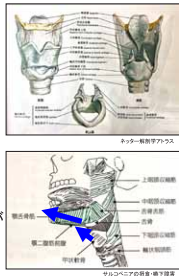
### 高齢者における嚥下時の喉頭位置変化の検討

リハビリテーション科 肥後 堯志

第75回国立病院総合医学会に参加し、指宿医療センターにおける高齢者の喉頭位置について発表させていただきました。WEB形式でのオンデマンド配信だったので、今回初めて音声付き動画を作成することになりました。聴者の反応が分からない、自分の滑舌が悪いなどもあり、動画作成には四苦八苦しました。今回で2回目の総合医学会でしたが、限られた時間の中で自分が伝えたいことを分かりやすく伝える方法を改めて考える機会となりました。今回の発表内容や経験を基に、患者様や勉強会等に生かしていくように取り組んでいきたいと思っています。

**考察①**

- ・喉頭は、舌骨上筋群(頸二腹筋、茎突舌筋、顎舌骨筋、オトガイ舌筋)が上方から支持しており、嚥下時には舌骨を拳上し前方へ牽引することで喉頭を拳上させる。
- ・食塊移送や喉頭蓋の反転、声門閉鎖など。
- ・加齢に伴い嚥下開始時の緩慢な喉頭拳上が増加し、最大拳上位までの時間と移動距離の延長が生じ誤嚥に繋がる。



### 指宿医療センターにおける地域薬局との連携強化への取り組み ～連携充実加算取得に向けた体制構築～

薬剤科 松島 静香

指宿医療センターにおける地域薬局との連携強化への取り組み-連携充実加算取得に向けた体制構築-



独立行政法人 国立病院機構  
指宿医療センター 薬剤科  
○松島 静香、阪元 孝志

指宿地域の薬局と当院における連携についてWEBにてポスター発表を行いました。また、学会では全国の病院の薬薬連携についての情報を得る貴重な機会となりました。まだまだ手探りの状態ですが、より良い薬物治療を提供できるよう取り組んでいきます。

### チームリーダー育成における看護管理者が果たす役割行動への支援

看護師長 國生 道代

今回「チームリーダー育成における看護管理者が果たす役割行動への支援」について、ポスター部門で参加しました。

3. 看護管理者が果たす支援の実態

1) OJTにおけるレベルIV職員に対する関わり方の現状 (意見交換)

意見交換内容

- 【リーダー育成は急務】看護チームリーダーの役割を担う看護員の不足を感じている
- 【経験したことのない看護管理】新型コロナウイルス感染症流行による病棟編成や看護体制の変更
- 【看護管理者としてのジレンマ】リーダー育成の重要性を感じているが、関わりを持てない現状

【意見交換の結果】

- ・看護師長間での思いの共有が図れた
- ・看護管理目標の再確認
- ・看護管理者の役割の再認識

【今後の具体的支援について】

- ・意図的な対話
- ・実践状況の確認
- ・プロセスに対する助言・承認

看護師は、チーム医療における「キーパーソン」であり、看護実践能力の高いリーダー育成が重要です。今回の取り組みをまとめるにあたり、看護管理者のOJT支援の重要性を再認識することができました。看護管理者による支援により、主体性ややる気が育まれる結果に繋がり、今後もチーム力や組織力が高まる人材育成に取り組んでいきたいと思っています。

今後も指宿医療センターの医療の質向上に向けて積極的に取り組んで参ります。



# 菜の花プロジェクト

臨床工学技士 田端 祐介

日本全体でコロナウイルスが蔓延し、各都道府県での規制もあり大人数での会食が制限されていて、当院でも年末忘年会が出来ず鹿島病院長から『何かしら職員全体で忘年会に代わるイベントは出来ないか』と提案を受け、ヘリポート・救急外来入口側に菜の花（指宿のシンボル・病院章でもある）を種から植えるというプロジェクトを立ち上げました。

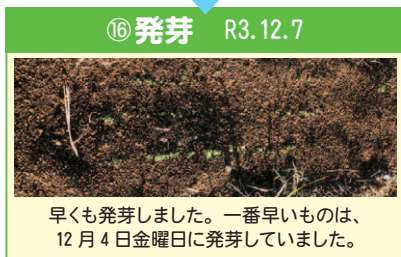
ヘリポートの南側と救急外来前を合わせて約 200㎡の敷地を開墾する為、ボイラーの松下さんを中心に草刈・耕しを行って頂きました。また、後日には看護部長を筆頭に有志の方々による細かい雑草取りが行われました。これらの作業が今回のプロジェクトの最大の難関であったのは間違いありません（ご協力者の皆様有難うございました）

11月26日に50余名の方々による種まきを実施、前日までに種を水でふやかした物を肥料入りの土に深さ約1cmの場所に植えていく作業を約1時間かけて終了、水をかけて皆で発芽を祈り終了しました。発芽までには個体差はありますが10～14日ぐらいかかります。

最初に発芽したのは12月4日でした。毎日水やりを行って頂いた事務職の方々に感謝です。特に松田事務部長が率先して水やりを行っていたのが非常に感慨深く、毎日発芽を楽しみにされているのだと実感しました。

まだ、発芽して間が無いので成長には時間がかかりますが、皆さんも菜の花が大きく成長し咲き誇るのを見守ってください。来年1月末くらいには開花するのではと思います。また、このプロジェクトを活かして季節の花々（夏⇒向日葵 秋⇒コスモス）を継続していきたいと思っております。継続は力なり！を皆さんで実行しませんか！！





指宿 菜の花通信 No.184 総合診療内科医師 中村一彦

田舎医者の流儀 (159)・・・また年を取りました

今年1月からはじまった南日本新聞「論点」への執筆は今回で最後になった。「老医を生きる」という表題にした。今回はその抜粋を記す。

「私はあと2週間で78歳、老医と言える年齢になってきた。御多分に漏れず、私も知っているはずの人や場所の名前がなかなか思い出せない。のどもとまで出かかっているのに出てこない。脳科学的に少し小難しく言うと、記憶のサーチエンジンである脳の前頭前野がそれを呼び出せなくなっている。海馬（脳の一部）が他のつながりを頼りに記憶を呼び起こそうとするのだが、すんなりとはいかない。診察をしていて、使い慣れた薬の名前がさっと出てこない。「日々、見知らぬ自分に合うのが老いというものか」という世阿弥の言葉をかみしめる。



(世阿弥 最後の花 藤沢周著 河出書房新社)

私の診ている患者さんは殆ど高齢者。「肩こりがひどい」「腰が痛い」「眠れない」「体が痒い」「夜何度もおしっこに起きる」等々、私の持つ症状そのものだ。当然、患者さんの訴えに共感できる。25歳で医者になり65歳迄の40年間、主に急性期医療を行う病院で働いてきた。そこでの医療は『救命・根治・延命』の世界であった。とにかく患者を助ける、病気を治す。できるだけ命を生かす。それが最高だと考える世界に住んできた。命に係わる症状には真剣に向き合ってきたがそうでない症状に対しては、距離を置いていたように思う。

定年後、指宿医療センターに赴任し総合内科医を名乗るようになった。そうすると「命助ければ良いでしょう」という診療態度では患者さんに納得頂く事は出来なくなった。こちらも、年を取り、様々の患者さんの訴えに共感できるようになり、それを改善して、患者さんの日常が快適であるようにしようと考えようになってきた。

それでも年を取りつづけ、そのうち「春愁や老医に患者なき日あり」（播水・神戸で内科を開業している医師）という状況が出てくるであろう。私にも、形は違っててもそう遠くないうちに、そんな日が訪れるだろう。それまで、心通じ合う患者さんと穏やかに交流し、残された医療人としての人生を歩めたらいいと思う。

「年逝くや、我が行く道を悔ゆるなし」 四元義隆

# 外来診療担当医一覧

令和4年1月1日現在

診療科等		月	火	水	木	金	備 考
循環器内科	午前	鹿島	吉重	鹿島山	大川井畑	鹿島吉重	
総合診療内科	午前	大井花田(血液内科)	花田	中村(一)	花田	中村(一)	
消化器内科	午前	羽田	(休診)	宮田大重(肝内)	大重	羽田	
小児科	午前	中野武	中野武	関荒武	中野武	関荒武	午前診療: 8時30分~11時 午後診療: 14時~16時 予防接種 (毎週月曜・火曜・木曜: 要予約) 受付 14時~14時30分 一ヶ月検診 (月・木) 受付 13時 (要予約) 3~4・7~8・9~11ヶ月・1歳児健診(火曜) 受付 13時45分 (要予約)
	午後	別府荒武	別府荒武	別府関	別府荒武	別府関	
外科	午前	(手術日)	宮園	宮園	(手術日)	(手術日)	金曜は予約患者のみの診察となります。
泌尿器科	午前	千代丸	(手術日)	千代丸	千代丸(再診のみ)	千代丸	
腎臓内科	午前			大塚		久保	17番診察室にて診察します。 10:00~ (要予約)
産婦人科	午前	森森元	古謝元	(手術日)	森古謝	古謝元	1ヶ月健診 (月・木曜日: 要予約) 2週間健診 (月・火・木・金: 要予約) 午後診療受付 (水・金曜日以外) 13時30分~15時 (再診のみ) 母乳外来 (毎週火・木曜日) 母乳学級 (毎月第2・3水曜日)
	午後	森森元	古謝元 助産師 母乳外来	助産師 母親学級	森古謝 助産師 母乳外来	(手術日)	
眼 科	午前	尾辻下	尾辻下	尾辻下	尾辻下	尾辻下	月曜・火曜・水曜は午後から手術のため受付は午前10時までとなります。 木曜・金曜の午後は特殊外来(視野検査、レーザー治療、造影検査、硝子体注射など)
	午後	(手術日)	(手術日)	(手術日)	(特殊外来)	(特殊外来)	
専門外来	午前	呼吸器内科	小児外科				呼吸器内科 毎週月曜日 予約制 呼吸器外科 毎月第1・3金曜日 (14時~17時) 予約制 小児循環器科 毎週月・水・木曜日 (14時・15時・16時) 要予約 ※第1・3火は16時のみ 小児外科 毎月第3火曜日 (9時45分~14時30分) 要予約 もの忘れ外来 第2・第4水曜日 (14時~16時) 要予約
	午後	呼吸器内科 小児循環器科	小児外科 小児循環器科	もの忘れ外来	小児循環器科	呼吸器外科	
内視鏡検査		宮田	羽田宮田	羽田	羽田藤井	赤崎宮田	第1・3・5水曜日 羽田 第2・4 木曜日 藤井
緩和ケア外来			要 予 約				随時予約受付
整形外科	午前			織田		織田	水曜日・金曜日 9時~17時 受付:(織田先生) 9時~11時・14時~15時30分 前迫先生: 隔週(1月14日(金) 1月28日(金)) 受付: 13時~15時30分 町田先生: 水曜日 受付: 13時~15時30分
	午後			織田・町田		織田・前迫	



## JRの場合

JR指宿枕崎線に乗車頂き、指宿駅で下車して下さい。  
指宿駅から山川行バス(鹿児島交通)にて「指宿医療センター前バス停」(約10分)で下車して下さい。  
当院の正面玄関前に停車します。

## バスの場合

JR鹿児島中央駅前(鹿児島市)から山川行バス(鹿児島交通)にて「指宿医療センター前バス停」で下車して下さい。当院の正面玄関前に停車します。

## 自動車の場合

鹿児島市からは、産業道路を進んで国道226号線を山川方面へ進んで下さい。  
指宿医療センターは国道沿いにあります。

- 受付時間 午前8時15分~午前11時00分
- 診療時間 午前8時30分~午後17時15分
- 休診日 土・日・祝祭日・年末年始 ※急患の方は随時受付いたします。
- 電話番号 0993-22-2231

新型コロナウイルス感染症流行に伴い、  
入院患者様への面会を禁止とさせていただきます。  
※お問い合わせは、受付にお電話ください。

発行: 独立行政法人国立病院機構 指宿医療センター  
〒891-0498 鹿児島県指宿市十二町4145番地  
TEL: 0993-22-2231 (代表)  
FAX: 0993-22-2772 (地域医療連携室)  
URL: <https://ibusuki.hosp.go.jp>  
印刷: 株式会社陽文社

